

# G.E.C

～岐南中学校英語チャンネル～

『全学年 英語科の学び方』



Hello! Everyone!! 今日は、『英語科の学び方』について勉強しましょう。

次のページから、英語学習の願い、英語科の学習で願う力、授業の受け方、ノートの使い方、評価について、家庭学習について…が書かれています。一度、読んでみて、今後の授業で大切にしなければならないことなどを把握しましょう。

また、ノートの使い方については、他のチャンネルで詳しく説明します。

☆準備ができる人は、4線で13段の英語ノートを用意してください。今後のチャンネル、学校での授業で使用します。2, 3年生の人は昨年度の残りのノートを続きで使用してもかまいません。



# 英語科の学び方



## (1) 英語学習の願い

英語は、日本語と同じで「お互いの思いや考えを伝えるための道具（言葉）」です。授業の中でもできるだけ、習った表現を使う場面を多く取るつもりです。そんな時には、ぜひ積極的に使しましょう。言葉は使うことで使い方が身に付きます。みなさんが今、自由に日本語を操れるようになったのは数えきれない間違いをしながらも、日本語を使い続けてきたからなのです。英語も同じです。間違いを恐れずに取り組みましょう。また、「私たちは日本で生活しているのに…英語なんて必要ない！」と持っている人はいませんか？世界には約 7,000 以上もの「言語」があるそうです。その中で、英語は多くの国で通じる言語になっています。私たちが英語を学ぶのは、外国の方と会話したり、何か読んだりするためだけではありません。英語を学ぶことによって、自国や他国の文化や習慣をよりよく知ることにつながり、より広い視野に立って物事を見ることができるようになるのです。

## 【英語科の学習で願う力（4領域）】

英語が自然に使えるようになるためには、4つのことが大切です。

- 聞く
  - ・発音、アクセント、イントネーション、区切りなどを聞き取る。
  - ・基本的な語句、文を聞き取る。
  - ・まとまった英文を聞いてその内容を聞き取る。
- 話す
  - ・正しい発音、アクセント、イントネーション、区切りで話す。
  - ・自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝える。
  - ・様々な質問に対して英語で反応したり、ジェスチャーを入れたりする。
- 読む
  - ・段落や文章全体の内容を理解する。
  - ・語句や文の意味を段落に即して理解する。
  - ・語句や文を正しく、内容が表現されるように音読する。
- 書く
  - ・アルファベット、語句、文を正しく書く。
  - ・与えられた条件、フレーム、トピックなどについてまとまりのある文で書く。
  - ・書かれている内容を読み取って、それについてまとめて書く。

## (2) 授業の受け方

授業は週に4回です。50分×4＝200分（3時間20分）が、みなさんが1週間で英語に触れる時間です。この限られた時間でどんな姿勢で授業に向かうかが、みなさんの英語の力を決めるポイントです。「いいわ、家でやるから。」「ちょっとわからんけど、塾でまたやるからいいか。」という考えで真面目に取り組まないのは悪いパターンです。授業で真剣にできる人は、一人でやる学習でもしっかりやっています。逆に、授業で真剣にできない人は、一人になったからといって、しっかりやれるというわけにはいかないものです。限られた時間で精一杯、頑張ってお勉強することが大切です。

## 【授業で大切にすること】

- ①集中して先生や仲間の話を聞くこと。
- ②いろいろな活動（練習、スクランプルでの対話など）に積極的に取り組み、英語を使う回数を増やす。
- ③必要だと感じたことはノートにメモしよう。単語の違う意味や使い方、本文の日本語訳（予習で日本語訳を考えてきた時は自分の訳と比べ、ポイントを絞って書くことができる）熟語の意味や使い方など。
- ④分からないことはそのままにせず、積極的に質問しよう。聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥。

## 【ノートの方

Lesson1-GET			
新出単語	本文	本文の意味	新出単語意味
	フリースペース <ul style="list-style-type: none"> <li>・板書</li> <li>・オリジナル文</li> <li>・本文や単語の練習</li> </ul>		

授業で聞いた説明を、分かりやすく書き、あとで振り返り理解できるよう、ノート作りをしましょう。ノートは見開きが見やすいですが、自分なりに工夫してみましょう。

また、英語では、授業で学習する前に、家庭での予習が必要です。毎時間確実に予習してこることができる習慣づけをしましょう。



### (3) 評価について

観点	評価の方法
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中のコミュニケーション活動（話す、書く）、ペアやグループ学習の協力度</li> <li>・授業姿勢（挙手発言、忘れ物、聞く姿勢、授業への参加態度）</li> <li>・提出物（ワーク、ノートなど）</li> </ul>
表現の能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己表現やレポートなどの書きまとめなど</li> <li>・中間テスト、期末テスト、単元テストなど</li> <li>・その他、音読や暗唱テストなど</li> </ul>
理解の能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中間テスト、期末テスト、単元テストなど</li> <li>・その他、リスニングテストや読み取りテストなど</li> </ul>
言語文化の知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中間テスト、期末テスト、単元テストなど</li> <li>・その他、単語テストなど</li> </ul>

### (4) 家庭学習

英語は「積み重ねの教科」とよく言われます。今、勉強している内容は、この先もずっと使います。「あとでまとめてやる。」ことよりも、「今日習ったことは今日のうちに覚える。」ことが、授業を楽しくする近道です。毎日、短い時間でもいいので、英語を発音したり、ノートに単語を書いたり、問題に取り組んだりしましょう。面倒がらずに時間をかければかけただけ力がつく教科が英語なのです。

#### 【家庭学習の方法】

##### ①予習の仕方

- ・次の授業で学習する内容の新出単語をノートに書き、意味調べをする。（教科書の後ろを見ても良いが、辞書を見るようにすると、いろいろな意味や例文が載っているので幅広い学習ができる。）
- ・基本文（POINT）をノートに写す。日本語にできれば日本語も書く。
- ・教科書の本文をノートに写す。できれば日本語訳も自分なりに考えて書く。

##### ②復習の仕方

- ・その日に学習した本文、プリントなどを何度か声に出して読む。（暗記できるとよい。）
- ・基本文を何度か書いて練習する。応用文を作る。（ノートのフリースペースの活用。）
- ・ワークを繰り返し行う。答え合わせをして、間違いを直す。間違えたところは繰り返し、ノートなどに書く。
- ・新しい単語を声に出して発音しながら書いて覚える。英文も同じ。

##### ③テスト勉強の仕方

- ・テスト範囲の教科書本文や基本文、単語、熟語を繰り返し音読して覚える。
- ・テスト範囲の文法や文型を、ノートを見ながら確認し、単語が変わってもいろいろな表現ができるようにしておく。
- ・テスト範囲のワークを繰り返しノートに行う。テストが終わってから、やり残しをやっていては意味がない。